



no.

115

発行

令和3年10月10日

# トマト通信

愛媛県議会議員

## 本宮いさむ

### 県政レポート

連絡先

〒799-1527 今治市長沢甲 1045 番地 6  
TEL0898-47-1393 FAX0898-47-1693

# 愛媛県 令和3年度 9月補正予算206億円

「孤独・孤立対策」では、食品製造業者等と連携したフードバンク活動や、市町と連携した子ども食堂の開催支援、経済的に困窮する不登校児童・生徒への多様な教育機会の確保を図ります。また、離職者等への就業支援として、再就職を希望する離職者等を正規雇用した事業主に奨励金を支給します。

愛媛県は9月7日、一般会計185億6,584万円の9月補正予算案を発表しました。新型コロナウイルス感染症への対応を柱とし、長引くコロナ禍で社会的・経済的な困難に直面している方々への支援や、地域経済の立て直しにも取り組むなど、県民の健康や暮らしを守る対策に全力を傾注しています。また、集中豪雨や南海トラフ地震等への備えとして、緊急に行うべき防災・減災対策を県単独で積極的に推進するほか、当面する課題への対応などが計上されました。

# コロナ対応で147億円！

追加予算 20億円

「地域経済の立て直し」では、中小企業に向けて「第2弾えひめ版応援金」を支給します。これには、売り上げ減少の支給要件を一部緩和や、松山市以外の飲食店も対象となります。さらに、中小企業等の新事業創出を支援する資金の融資枠拡充と保証料補助を行います。また、ものづくり企業によるデジタル技術を活用した販路開拓力の強化を支援し、ものづくり企業の振興と雇用創出の機会を創出します。

「スポーツ・文化活動支援」では、スポーツや文化芸術活動団体の支援とともに、徹底した感染防止策が講じられた文化芸術イベント等の鑑賞機会や、在宅での読書に親しむためのクーポン券を発行。また、県庁内のペーパーレス化の推進や感染状況に応じたテレワークに必要な執務環境の整備を進めます。

「コロナ以外には、防災・減災対策を推進」「当面する課題への対応」として、緊急輸送道路等の整備や、河川、海岸、港湾施設の改修や河床掘削の推進、がけ崩れ防災対策の促進や砂防施設の整備などに取り組めます。

# コロナ禍で打撃を受けた事業者への支援

## コロナ被害者への支援

- コロナ禍で打撃を受けた事業者へ、中小企業に20万円、個人事業主に10万円で、計1万6千件の支給になります。
- 対象者：6～9月の1カ月の売り上げが前年か前々年比で30%以上減少か、連続20カ月の売り上げが各月とも15パーセント以上減少した事業者。申請方法や受付時期などは各市町が公表します。



## 被害事業者への貸付

- 新規創業やコロナ禍に対応した事業転換を図る事業者に運転資金や設備資金として、上限3500万円を貸し付ける「新事業創出支援資金」の融資枠に3億円を追加しました。貸付原資として1億2千万円を計上し、借入時に信用保証協会に支払う信用保証料は県が全額補助。300件を追加募集します。



## 製造・観光業のDX推進

- 新型コロナの影響を受けた県内の製造業や観光・食品関連産業を対象に、デジタルトランスフォーメーション(DX)推進による産業振興と雇用の創出を目指します。
- 取り組み内容：▽IT人材と県内企業のマッチングやインターンシップ▽ものづくり企業の新事業展開の専門家支援▽食料と先端技術を融合やDX推進に向けた協議会の開催



## 一般会計 185 億 6,584 万円【累計 7,666 億 4,925 万円】

- I 新型コロナ対策として、病床確保や円滑なワクチン接種等の感染防止対策を図るほか、社会的・経済的弱者への孤独・孤立対策の推進や経済の立て直し、スポーツ・文化活動の継続等への対応など、県民の健康や暮らしを守る対策を強化
- II 集中豪雨や南海トラフ地震等への備えとして、県独自の緊急防災・減災対策等を積極的に推進
- III 地球温暖化対策など、当面する課題への対応

## 1. 新型コロナウイルス感染症への対応 126 億 5,116 万円

- (1) 病床確保やワクチン接種体制等の感染防止対策の強化 84 億 5,080 万円
  - ① 重点医療機関における感染症患者の受入病床の確保 63 億 1,329 万円
  - ② ワクチン接種を行う医療機関等に対する支援(延長分 8/1~11/30) 18 億 5,158 万円
  - ③ 県有集客施設におけるキャッシュレス化等による感染防止対策の強化 2 億 8,593 万円
- (2) 社会的・経済的弱者への孤独・孤立対策の推進 1 億 6,244 万円
  - ＜孤独・孤立の総合的支援＞
    - ① コロナ禍により社会的な孤独・孤立感を抱える県民に対する相談窓口等の整備 2,745 万円
    - ② コロナ禍でも相談支援活動を継続する団体への活動支援 2,250 万円
    - ③ コロナ禍による孤独・孤立対策に取り組むNPO法人への活動支援 545 万円
  - ＜子どもや高齢者へのつながりの創出＞
    - ④ 県内の生徒を対象としたSNSを活用した相談窓口の拡充 403 万円
    - ⑤ 市町が実施する子どもの居場所確保への支援 2,603 万円
    - ⑥ 高齢者福祉施設におけるオンライン面会用機器の導入支援 750 万円
  - ＜生活困窮世帯への経済的支援＞
    - ⑦ 食品製造業者等によるフードバンク活動の強化を通じた生活困窮者等への支援 500 万円
    - ⑧ 「つながりの場」としての子ども食堂の開催に向けた支援 507 万円
    - ⑨ 経済的に困窮する不登校児童生徒への教育機会の確保に向けた支援 3,983 万円
  - ＜離職者等への就業支援＞
    - ⑩ 離職者等を正規雇用した事業主への緊急的な支援 1,175 万円
    - ⑪ 再犯防止対策強化のための協力雇用主制度の普及啓発 783 万円

## (3) 地域経済の立て直しに向けた対応強化 33 億 3,250 万円

- ＜苦境に直面する事業者への支援＞
  - ① 県による売上の減少した事業者に対する支援[第2弾えひめ版応援金] 26 億 68 万円
  - ② 県内酒蔵を支援するための「愛媛の地酒」販売促進キャンペーン等の実施 2,959 万円
  - ③ 中小企業等の新事業創出支援資金の融資枠の拡充と保証料の支援 1 億 3,560 万円
    - ＜新たな販路開拓や人材育成等の促進＞
      - ④ 新しいビジネスモデルの展開に挑戦する意欲ある中小企業等への支援 3 億 3,000 万円
      - ⑤ 県内ものづくり企業のデジタル販路開拓力の強化に向けた支援 1,403 万円
      - ⑥ 県内企業のDXを推進するためのIT人材の育成・マッチングへの支援 1,350 万円
      - ⑦ デジタル技術による生産性向上や新事業の展開に取組む県内ものづくり企業への支援 2,002 万円
      - ⑧ 食品関連産業の経営基盤強化に向けた産業振興と雇用創出への一体的な支援 2,995 万円
      - ⑨ 人材不足等の解消に取り組む中小企業等の外国人材の受入れへの支援 7,698 万円
  - ＜コロナ後を見据えた誘客促進＞
    - ⑩ 欧米豪から誘客促進に向けたコンテンツの開発や旅行商品の造成 2,717 万円
    - ⑪ 自然公園への誘客促進に向けた情報発信の強化と受入環境の整備 5,498 万円

## (4) スポーツ・文化活動の継続支援とデジタルシフトへの対応 3 億 8,067 万円

- ① 感染拡大により活動の自粛等を余儀なくされたスポーツ・文化芸術活動等への支援 1,005 万円
- ② 感染対策が徹底された文化芸術の鑑賞機会の提供や在宅での読書支援 1 億 955 万円
- ③ 美術館によるデジタル技術を活用したリモート教育とリモート講演会の実施 395 万円
- ④ 県民文化会館におけるオンライン会議等に対応する通信環境の整備 1,146 万円
- ⑤ 県庁のペーパーレス化推進に向けた執務環境の整備 2 億 4,566 万円

## 2. 防災・減災対策の推進 35 億 2,036 万円

- (1) 県単独緊急防災・減災対策事業 33 億 9,680 万円
  - ① 緊急輸送道路等の整備 16 億 8,300 万円
  - ② 河川、海岸、港湾施設の改修 5 億 5,800 万円
  - ③ 河川の氾濫を防止する河床掘削の推進 5 億 1,240 万円
  - ④ がけ崩れ防災対策の促進 1 億 6,660 万円
  - ⑤ 土砂災害を防止する砂防施設の整備 4 億 7,680 万円
- (2) 公共施設等の保全対策 7,243 万円
  - ① 市町が実施する水道施設の耐震化等への支援 1,258 万円
  - ② 山地災害発生区域内の治山工事による二次災害の防止 5,985 万円

## 3. 当面する課題への対応 23 億 9,432 万円

- ① 再生可能エネルギー導入目標の設定に必要な基礎調査の実施 337 万円
- ② 多様な森林体験ができる施設としての再整備等によるえひめ森林公園の魅力向上 1,807 万円
- ③ 輸出促進に向けたHACC等に対応する施設整備への支援 2,167 万円
- ④ 愛媛マラソン大会への支援 330 万円

## 9月補正追加予算 一般会計 20 億 5,981 万円

- 新型コロナウイルス感染症に係る自宅療養者の健康管理体制の強化や生活困窮世帯への支援に加え、飲食店への営業時間短縮要請等の延長に伴う対策について、緊急に措置を必要とする経費を9月議会に追加提案する。
- ① 自宅療養者のオンライン診療や処方薬の配送支援による健康管理体制の強化 1 億 6,133 万円
  - ② 生活福祉資金の特例措置による生活を維持するための貸付 17 億 1,000 万円
  - ③ 感染防止のための営業時間短縮に応じる飲食店への協力金(延長分) 1 億 8,848 万円

※他にも外国人材を受け入れる県内中小企業に入国後待機経費の半額補助や、スポーツ・文化団体やビジネスモデルへの支援などがあります。



# 県議会志士の会 南予地域の水産業の実態調査

## 愛南町水産業実態調査

愛南町では、3年前から真珠母貝稚貝のへい死が起っています。また、コロナ禍によって養殖真鯛のコロナ禍により販売不振のために価格が低迷しています。これらの問題について、志士の会でその実態を調査しました。

### 7月27日15時 真珠稚貝作業場

愛南で養殖する真珠母貝は、全国の約7割、年間約2000万個を三重県・長崎県などの真珠産地に出荷しています。しかし、3年前から真珠母貝のへい死が始まりました。年々悪化しているのですが、原因が判明していません。



### 7月27日16時 愛南町役場

愛南町の水産業の生産額205億円の内、真鯛養殖116億円、ブリ養殖69億円など、養殖は182億円、養殖真鯛は全国シェアの20%を占めています。しかし、近年のコロナ禍の影響で安価が続く、真珠の稚貝へい死のために、収入が激減しています。こうした現状を踏まえ、稚貝の購入補助と経営資金の支援が必要だと聞きました。また、御荘湾には、2本の2級河川が流れ込みますが、大雨が降見ると、流木やシダ類のゴミが大量に湾に流れ込んで養殖筏に漂着し、養殖に支障をきたすことへの支援要望がありました。

### 7月28日8時 真鯛養殖場

真鯛養殖の選別、出荷、エサやり、養殖場を視察しました。ここでは、深浦湾の沖合にいけすを54基設置し、合計で約180万匹の真鯛を養殖しています。しかし、コロナ禍で消費が落ち込み、現在400万匹の真鯛がいけすに残り、原価割れで販売されています。また、エサを与えなければならず、経費がかさむ一方だという実情を聞かせていただきました。



これらの意見を志士の会でまとめ、真珠母貝へい死の原因究明、養殖業の根本的改革と流通対策、流木ゴミや河川整備などを県議会で検討できるように、8月1日に県へ要望を出しました。

## ホームページを新しく開設!

この度、ホームページを新しく開設いたしました。今までのグリーンと赤のカラーから、淡いデニム調のブルーを基調にしたカラーリングに変更するとともに、内容も以前よりグンと充実させました。政策やプロフィール、活動内容に加え、県議会質問内容や議会報告、視察報告など、

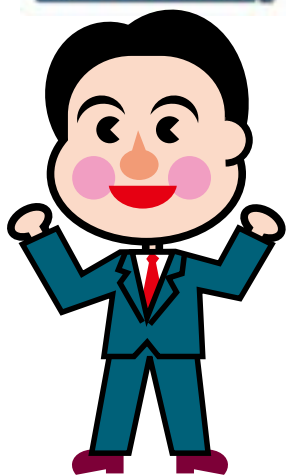
新しいページがグンと増え、豊富な内容で県政のことが詳しくわかるようになっています。また、とても見やすい画面構成となっています。また、岡山理科大学獣医学部の誘致に関する経緯の一部も掲載しています。開学から4年を迎えた今だからこそ、改めて読んでいただければと思います。



本宮勇のHPはこちらです  
<http://www.i-hongu.jp>



- >> TOP
- >> ごあいさつ
- >> 政策
- 1 地域を活かす
- 2 産業を活かす
- 3 災害に備える：防災
- 4 災害に備える：防災
- 5 快適な生活を
- 6 未来を育む
- >> プロフィール
- >> 活動
- 1 県議会議員の仕事
- 2 県議会での質問
- 3 広報：トマト通信
- 4 広報：その他
- 5 広報：ブログ
- 6 視察報告
- 7 政治活動の成果
- >> 政治活動アトイフ



## 電子本で 「66歳の再出発」



「トマト通信」やホームページの作成でお世話になっている土井中照さんが、アマゾンから電子書籍を発売しました。土井中さんは、還暦を過ぎてから大腸ガンや脳梗塞という大病が続いて体調を崩し、マスコミへの出演や執筆活動、講演活動を制限していたのです。大腸ガンの回復後に『大食らい子規と明治』という本を出し、愛媛出版文化賞の奨励賞を得たのは記憶に新しいところですが、最近ではブログへの執筆が中心になっていました。

最近、ようやく体調が回復した土井中さんは、積極的な活動を行なっています。例えば、「松山百点」の連載や、子規博で来年開催予定の狸サミット講演などが挙げられます。その土井中さんが、今まで書きためてきた夏目漱石や正岡子規関係の文章を電子本にしようと思いつき、ヒット作『戦国ぼっち』で知られる歴史ファンタジー作家の瀧津孝さんと組んで、雲水舎からの「エンターテイメント系電子本出版計画」を実現させました。

9月には『西洋料理好き漱石』と『呪術都市・松山』の2冊を出し、10月にも『湯けむり漱石』と『もののけ談義・前編』を出版予定です。この後も月2冊のペースで、漱石と子規関係の出版を続けるそうです。また、小説を書くプランもあり、彼の執筆に対する熱い情熱を感じます。土井中さんは、私と同年代ですが、学年は一つ下。そのエネルギーの強さには驚かされます。今回の電子本出版は、「66歳の再出発」として、自分が今までに書いてきたものを残したいという意味を持つそうです。新しいことやワクワクするものを書き続けたいとのことでした。

ご興味のある方は、土井中さんの電子本をアマゾンでご購入してみてください。アマゾンのアンリミテッド会員の方なら、無料でご覧いただけます。年齢の近い人の活躍を見ると、私もまだまだがんばらなくてはと思います。



くわしくは  
HP「いなか主義」で